

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道2号 安芸バイパス【有料】
事業主体	中国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

		指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性	<input checked="" type="checkbox"/> 便益が費用を上回っている	全事業：費用便益比（B/C）= 1. 2（経済的純現在価値（B-C）= 86億円、経済的内部収益率（EIRR）= 4. 7%） 残事業：費用便益比（B/C）= 2. 0（経済的純現在価値（B-C）= 244億円、経済的内部収益率（EIRR）= 6. 9%）

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標（対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を■に変更）	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑なモビリティの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 現道等の年間渋滞損失時間及び削減率	区間b（当該区間／並行区間）について：（該当区間名） 並行区間等（当該区間）の渋滞損失時間：1,021千人・時間/年（東広島市八本松町宗吉～安芸区上瀬野町上瀬野） 並行区間等（当該区間）の渋滞損失削減率：約4割削減（東広島市八本松町宗吉～安芸区上瀬野町上瀬野）
		<input type="checkbox"/> 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	
		<input type="checkbox"/> 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上の上の踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	広島～瀬野～西条線の路線バス（芸陽バス）の利便性向上が見込まれる
		<input type="checkbox"/> 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	
		<input checked="" type="checkbox"/> 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	安芸郡海田町から広島空港までの所要時間の短縮が見込まれる（66分⇒41分）
	物流効率化の支援	<input checked="" type="checkbox"/> 特定重要港湾もしくは国際コンテナ航路の発着港湾へのアクセス向上が見込まれる	東広島市から特定重要港湾広島港までの所要時間の短縮が見込まれる（62分⇒26分）
		<input type="checkbox"/> 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	
		<input type="checkbox"/> 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	

1. 活力	都市の再生	<input type="checkbox"/> 都市再生プロジェクトを支援する事業である	
		<input type="checkbox"/> 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	
		<input type="checkbox"/> 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	
		<input type="checkbox"/> 中心市街地内で行う事業である	
		<input type="checkbox"/> 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	
		<input type="checkbox"/> DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	
		<input type="checkbox"/> 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	
	国土・地域ネットワークの構築	<input type="checkbox"/> 高速自動車国道と並行する自専道(A'路線)としての位置づけ有り	
		<input checked="" type="checkbox"/> 地域高規格道路の位置づけあり	東広島廿日市道路の一部を構成(平成6年12月指定)
		<input checked="" type="checkbox"/> 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	広島市と東広島市を最短で連絡
		<input type="checkbox"/> 現道等における交通不能区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	
	個性ある地域の形成	<input type="checkbox"/> 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	拠点開発プロジェクト広島中央テクノポリスの開発支援
<input type="checkbox"/> 主要な観光地へのアクセス向上が期待される			
<input type="checkbox"/> 特別立法に基づく事業である			
<input type="checkbox"/> 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である			
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	<input type="checkbox"/> 自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上の全てに該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	
	無電柱化による美しい町並みの形成	<input type="checkbox"/> 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	
		<input type="checkbox"/> 市街地又は歴史景観地区(歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区)の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	
安全で安心できるくらしの確保	<input checked="" type="checkbox"/> 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	東広島市～県立広島病院、70分⇒33分 ※現況はセンサス速度、将来は規制速度等より算定	

3. 安全	安全な生活環境の確保	<input type="checkbox"/> 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	
		<input type="checkbox"/> 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	
	災害への備え	<input type="checkbox"/> 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	
		<input checked="" type="checkbox"/> 対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	第一次緊急輸送道路に位置づけ
		<input type="checkbox"/> 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	
		<input type="checkbox"/> 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	
		<input type="checkbox"/> 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	
		<input type="checkbox"/> 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	
		<input type="checkbox"/> 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	
		<input type="checkbox"/> 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	
4. 環境	地球環境の保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出削減量：10千t/年
	生活環境の改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：（東広島市八本松町宗吉～安芸区上瀬野町上瀬野） 排出削減量：36t/年、排出削減率：1割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてNOx排出増加量：55t/年
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	（推計結果） 評価対象区間（現道／平行区間等）：（東広島市八本松町宗吉～安芸区上瀬野町上瀬野） 排出削減量：3t/年、排出削減率：1割削減 （バイパス事業の場合）バイパス等についてSPM排出増加量：4t/年
		<input checked="" type="checkbox"/> 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	安芸区上瀬野地区L=0.3kmの夜間騒音が、現況値を下回る見込み (74dB⇒73dB)
		<input type="checkbox"/> その他、環境や景観上の効果が期待される	
5. その他	他のプロジェクトとの関係	<input checked="" type="checkbox"/> 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	東広島バイパス、広島南道路と一体となって、地域高規格道路「東広島廿日市道路」を構成する
		<input type="checkbox"/> 他機関との連携プログラムに位置づけられている	
		<input checked="" type="checkbox"/> 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	中国地方の道路の整備に関するプログラム（中国地方幹線道路協議会、H16.3策定）
		<input checked="" type="checkbox"/> その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	広島都市圏を構成する広島市、東広島市の一体的な発展のための機能強化が図れる

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BPの別
一般国道2号	安芸バイパス	L= 7.7 km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
17,800~18,700	4	中国地方整備局

① 費用

	改築費	維持修繕費	合計
基準年	平成17年		
単純合計	520億円	83億円	603億円
うち残事業分	384億円	83億円	467億円
基準年における 現在価値 (C)	392億円	17億円	410億円
うち残事業分	235億円	17億円	252億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行費用 短縮便益	交通事故 減少便益	合 計
基準年	平成17年			
供用年	平成40年			
単年便益 (初年便益)	56億円	5億円	2億円	62億円
基準年における 現在価値 (B)	446億円	38億円	12億円	496億円
うち残事業分	446億円	38億円	12億円	496億円

③ 結 果

費用便益比 (事業全体)	1.2
費用便益比 (残事業)	2.0

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析 (残事業を対象)

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比 (B/C)
交通量	17,800~18,700	±10%	1.67 ~ 2.27
事業費	603億円	±10%	2.18 ~ 1.80
事業期間	22年	±4年 (±20%)	2.22 ~ 1.21
割引率	4%	±1%	2.53 ~ 1.55

様式記入上の留意点

1. 基準年は評価実施年度とする。残事業分は評価実施年度の翌年度以降分を計上。
2. 費用及び便益額は整数止 (費用・便益の額によって小数点以下2桁) とする。
3. 費用便益比は小数点以下1桁とする。
4. 単年便益 (初年便益) は4月1日供用を前提として算出

交通状況の変化

事業名： 安芸バイパス(事業全体・残事業)

(推計年次 H42年)

			整備なし (A)	整備あり (B)
①新設・改築道路	交通量	[台/日]	0	17,600
	安芸バイパス	走行時間	0	6
	延長:7.7km	走行時間費用	0.00	27.398
②主な周辺道路	現道(国道2号)	交通量	24,800	19,000
		走行時間	18	17
		延長:8.8km	走行時間費用	132.750
	山陽自動車道	交通量	59,900	52,800
		走行時間	8	8
		延長:10.4km	走行時間費用	140.116
	主)志和インター線	交通量	28,100	23,100
		走行時間	6	5
		延長:4km	走行時間費用	43.895
	一)津江八本松線	交通量	4,100	2,300
		走行時間	12	12
		延長:5km	走行時間費用	12.919
③その他道路合計		走行時間費用	11,083.880	11,072.239
延長:1851.3km				

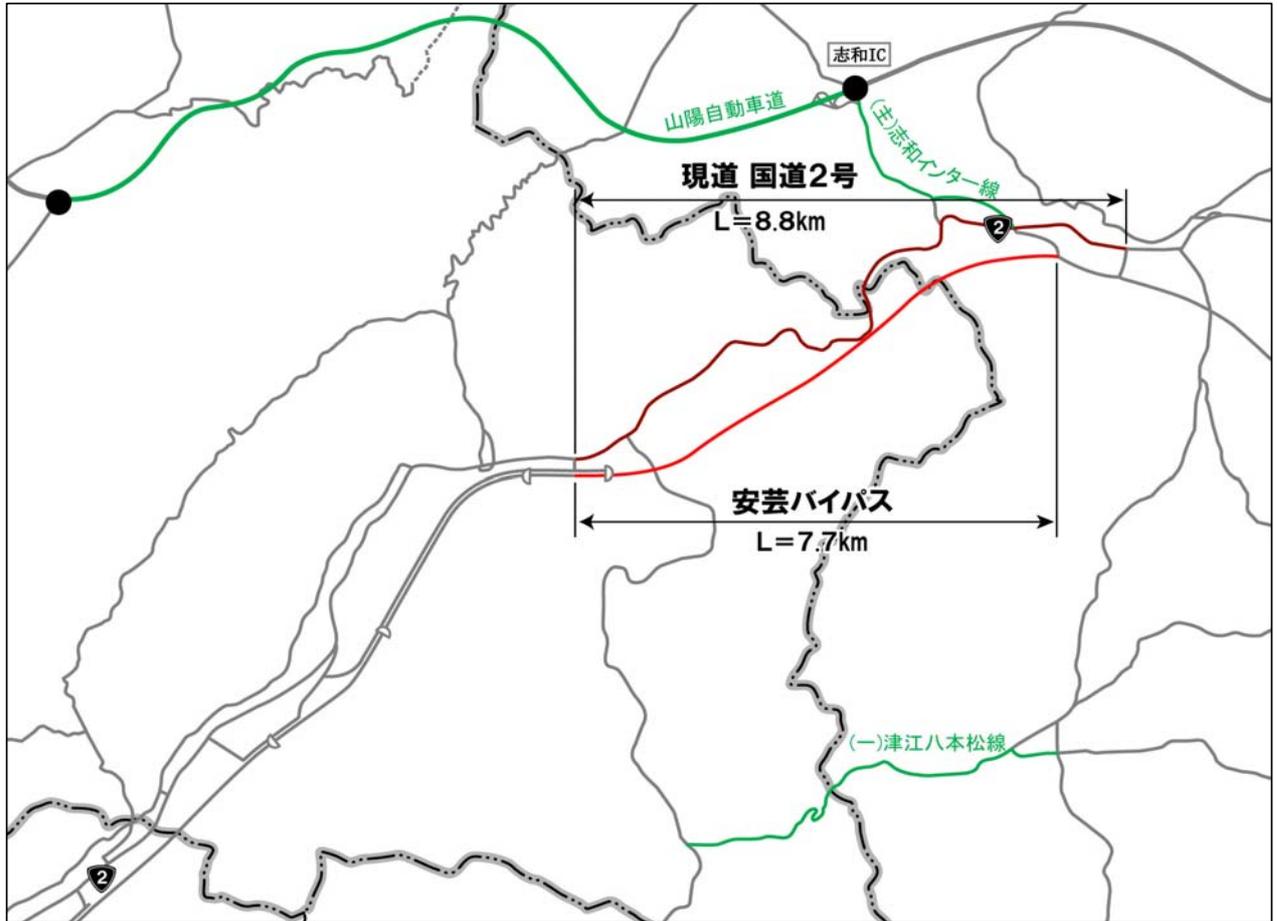
			走行時間費用 整備なし(A)	走行時間費用 整備あり(B)	走行時間 短縮便益
合計	延長:1887.3km	走行時間費用	11,413.560	11,357.642	55.918
		[億円/年]			

※四捨五入の関係で合計値が合わない場合がある。

- ※1: 交通量については、当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。
 ※2: 走行時間については、配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。
 ※3: 走行時間費用については、費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。
 ※4: 主な周辺道路については、当該事業により大きく変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

事業名： 安芸バイパス

【 図面 (①、②に該当する道路を明示すること)】



費用便益分析の条件

事業名: 安芸バイパス

(2)

項目		チェック欄	
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成15年8月 国土交通省 道路局 都市・地域整備局)		
	その他		
分析の基本的事項	分析対象期間	40年間	
	社会的割引率	4%	
	基準年次	平成17年	
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計 複数時点での推計	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	
		整備の有無のいずれかのみ推計	有 無
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	(H11センサス)
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	
		その他()	
	開発交通量の考慮	無	
		有	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数) 考慮した理由を記載
	配分交通量の推計手法	Q - V式を用いた配分	
		転換率式を用いた配分	
		Q - V式と転換率式の併用による配分	
均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)			
簡易手法			
簡易手法の場合		小規模事業である 山間部海岸部で併行道路が少ない その他()	
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定 採用理由を記載		
	最終配分の速度 採用理由を記載		
	その他(最終配分交通量とQV式との関係から平均速度を設定)		

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:安芸バイパス

採用単価の根拠		
単価(億円)	延長(km)	単価(億円)
0.27	7.7	2.08

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
-33年目	H 7	1.4802	1.000	1.480		
-32年目	H 8	1.4233	1.500	2.135		
-31年目	H 9	1.3686	2.700	3.695		
-30年目	H 10	1.3159	27.800	36.583		
-29年目	H 11	1.2653	10.800	13.665		
-28年目	H 12	1.2167	9.300	11.315		
-27年目	H 13	1.1699	9.500	11.114		
-26年目	H 14	1.1249	15.300	17.210		
-25年目	H 15	1.0816	14.700	15.900		
-24年目	H 16	1.0400	22.900	23.816		
-23年目	H 17	1.0000	20.700	20.700		
-22年目	H 18	0.9615	7.510	7.221		
-21年目	H 19	0.9246	0.200	0.185		
-20年目	H 20	0.8890	0.200	0.178		
-19年目	H 21	0.8548	4.870	4.163		
-18年目	H 22	0.8219	9.130	7.504		
-17年目	H 23	0.7903	8.450	6.678		
-16年目	H 24	0.7599	8.070	6.133		
-15年目	H 25	0.7307	24.200	17.683		
-14年目	H 26	0.7026	53.990	37.933		
-13年目	H 27	0.6756	55.790	37.690		
-12年目	H 28	0.6496	50.900	33.064		
-11年目	H 29	0.6246	22.790	14.235		
-10年目	H 30	0.6006	13.770	8.270		
-9年目	H 31	0.5775	13.770	7.952		
-8年目	H 32	0.5553	13.770	7.646		
-7年目	H 33	0.5339	13.770	7.352		
-6年目	H 34	0.5134	13.770	7.069		
-5年目	H 35	0.4936	13.770	6.797		
-4年目	H 36	0.4746	13.770	6.536		
-3年目	H 37	0.4564	13.770	6.284		
-2年目	H 38	0.4388	13.770	6.043		
-1年目	H 39	0.4220	13.770	5.810		
供用開始年次	H 40	0.4057			2.079	0.844
1年目	H 41	0.3901			2.079	0.811
2年目	H 42	0.3751			2.079	0.780
3年目	H 43	0.3607			2.079	0.750
4年目	H 44	0.3468			2.079	0.721
5年目	H 45	0.3335			2.079	0.693
6年目	H 46	0.3207			2.079	0.667
7年目	H 47	0.3083			2.079	0.641
8年目	H 48	0.2965			2.079	0.616
9年目	H 49	0.2851			2.079	0.593
10年目	H 50	0.2741			2.079	0.570
11年目	H 51	0.2636			2.079	0.548
12年目	H 52	0.2534			2.079	0.527
13年目	H 53	0.2437			2.079	0.507
14年目	H 54	0.2343			2.079	0.487
15年目	H 55	0.2253			2.079	0.468
16年目	H 56	0.2166			2.079	0.450
17年目	H 57	0.2083			2.079	0.433
18年目	H 58	0.2003			2.079	0.416
19年目	H 59	0.1926			2.079	0.400
20年目	H 60	0.1852			2.079	0.385
21年目	H 61	0.1780			2.079	0.370
22年目	H 62	0.1712			2.079	0.356
23年目	H 63	0.1646			2.079	0.342
24年目	H 64	0.1583			2.079	0.329
25年目	H 65	0.1522			2.079	0.316
26年目	H 66	0.1463			2.079	0.304
27年目	H 67	0.1407			2.079	0.293
28年目	H 68	0.1353			2.079	0.281
29年目	H 69	0.1301			2.079	0.270
30年目	H 70	0.1251			2.079	0.260
31年目	H 71	0.1203			2.079	0.250
32年目	H 72	0.1157			2.079	0.240
33年目	H 73	0.1112			2.079	0.231
34年目	H 74	0.1069			2.079	0.222
35年目	H 75	0.1028			2.079	0.214
36年目	H 76	0.0989			2.079	0.206
37年目	H 77	0.0951			2.079	0.198
38年目	H 78	0.0914			2.079	0.190
39年目	H 79	0.0879	(87.700)	(7.708)	2.079	0.183
合計			432.300	392.330	83.160	17.363
単純事業費計			520.000		83.160	

- 注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)
- 注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。
- 注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

費用の現在価値算定表

維持修繕費の単価単価の算出(消費税相当額含む)

箇所名:安芸バイパス

採用単価の根拠		
一般国道(直轄)雷寒費除く		
単価(億円)	延長(km)	単価単価(億円)
0.27	7.7	2.08

年次	年度	割引率	事業費(億円)		維持修繕費(億円)	
			単価単価	現在価値	単価単価	現在価値
-22年目	H 18	0.9615	7.510	7.221		
-21年目	H 19	0.9246	0.200	0.185		
-20年目	H 20	0.8890	0.200	0.178		
-19年目	H 21	0.8548	4.870	4.163		
-18年目	H 22	0.8219	9.130	7.504		
-17年目	H 23	0.7903	8.450	6.678		
-16年目	H 24	0.7599	8.070	6.133		
-15年目	H 25	0.7307	24.200	17.683		
-14年目	H 26	0.7026	53.990	37.933		
-13年目	H 27	0.6756	55.790	37.690		
-12年目	H 28	0.6496	50.900	33.064		
-11年目	H 29	0.6246	22.790	14.235		
-10年目	H 30	0.6006	13.770	8.270		
-9年目	H 31	0.5775	13.770	7.952		
-8年目	H 32	0.5553	13.770	7.646		
-7年目	H 33	0.5339	13.770	7.352		
-6年目	H 34	0.5134	13.770	7.069		
-5年目	H 35	0.4936	13.770	6.797		
-4年目	H 36	0.4746	13.770	6.536		
-3年目	H 37	0.4564	13.770	6.284		
-2年目	H 38	0.4388	13.770	6.043		
-1年目	H 39	0.4220	13.770	5.810		
供用開始年次	H 40	0.4057			2.079	0.844
1年目	H 41	0.3901			2.079	0.811
2年目	H 42	0.3751			2.079	0.780
3年目	H 43	0.3607			2.079	0.750
4年目	H 44	0.3468			2.079	0.721
5年目	H 45	0.3335			2.079	0.693
6年目	H 46	0.3207			2.079	0.667
7年目	H 47	0.3083			2.079	0.641
8年目	H 48	0.2965			2.079	0.616
9年目	H 49	0.2851			2.079	0.593
10年目	H 50	0.2741			2.079	0.570
11年目	H 51	0.2636			2.079	0.548
12年目	H 52	0.2534			2.079	0.527
13年目	H 53	0.2437			2.079	0.507
14年目	H 54	0.2343			2.079	0.487
15年目	H 55	0.2253			2.079	0.468
16年目	H 56	0.2166			2.079	0.450
17年目	H 57	0.2083			2.079	0.433
18年目	H 58	0.2003			2.079	0.416
19年目	H 59	0.1926			2.079	0.400
20年目	H 60	0.1852			2.079	0.385
21年目	H 61	0.1780			2.079	0.370
22年目	H 62	0.1712			2.079	0.356
23年目	H 63	0.1646			2.079	0.342
24年目	H 64	0.1583			2.079	0.329
25年目	H 65	0.1522			2.079	0.316
26年目	H 66	0.1463			2.079	0.304
27年目	H 67	0.1407			2.079	0.293
28年目	H 68	0.1353			2.079	0.281
29年目	H 69	0.1301			2.079	0.270
30年目	H 70	0.1251			2.079	0.260
31年目	H 71	0.1203			2.079	0.250
32年目	H 72	0.1157			2.079	0.240
33年目	H 73	0.1112			2.079	0.231
34年目	H 74	0.1069			2.079	0.222
35年目	H 75	0.1028			2.079	0.214
36年目	H 76	0.0989			2.079	0.206
37年目	H 77	0.0951			2.079	0.198
38年目	H 78	0.0914			2.079	0.190
39年目	H 79	0.0879	(87.700)	(7.708)	2.079	0.183
合計			296.100	234.717	83.160	17.363
単純事業費計			383.800		83.160	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
(投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

注3) 維持修繕費は便益算出マニュアルの参考値を基本としている。

便益の現在価値算定表

箇所名:安芸バイパス

年次	年度 (基準年) H17	総走行台数の年次別伸び率 (山陽7ロック)			割引率 (A)	走行時間短縮便益(億円)						走行経費減少便益(億円)						事故減少便益(億円)		合計 (億円)	
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A) ×	現在価値 ×(A)	現在価値 ×(A)	便益合計 (-)	現在価値 割引率4%
		乗用車類	貨物車類	全車		乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 ×(A)	乗用車	バス	小型貨物	普通貨物	計	現在価値 (A) ×	現在価値 ×(A)	現在価値 ×(A)	便益合計 (-)	現在価値 割引率4%
供用開始年次	H 40	0.99991	0.99475	0.99829	0.4057	33.289	6.203	4.996	11.612	56.100	22.761	2.257	0.201	0.801	1.553	4.813	1.953	1.533	0.622	62.447	25.336
1	H 41	0.99991	0.99473	0.99829	0.3901	33.286	6.203	4.969	11.551	56.009	21.850	2.257	0.201	0.797	1.545	4.801	1.873	1.531	0.597	62.340	24.320
2	H 42	0.99991	0.99470	0.99829	0.3751	33.283	6.202	4.943	11.490	55.918	20.976	2.257	0.201	0.793	1.537	4.788	1.796	1.528	0.573	62.234	23.345
3	H 43	0.99692	0.99482	0.99627	0.3607	33.180	6.183	4.917	11.430	55.711	20.094	2.250	0.200	0.789	1.529	4.768	1.720	1.522	0.549	62.002	22.363
4	H 44	0.99691	0.99479	0.99626	0.3468	33.078	6.164	4.892	11.371	55.504	19.250	2.243	0.200	0.785	1.521	4.749	1.647	1.517	0.526	61.770	21.423
5	H 45	0.99690	0.99477	0.99624	0.3335	32.975	6.145	4.866	11.311	55.298	18.441	2.236	0.199	0.781	1.513	4.729	1.577	1.511	0.504	61.538	20.521
6	H 46	0.99689	0.99474	0.99623	0.3207	32.873	6.126	4.841	11.252	55.091	17.665	2.229	0.199	0.777	1.505	4.709	1.510	1.505	0.483	61.306	19.658
7	H 47	0.99688	0.99471	0.99621	0.3083	32.770	6.106	4.815	11.192	54.884	16.922	2.222	0.198	0.772	1.497	4.690	1.446	1.500	0.462	61.073	18.830
8	H 48	0.99687	0.99468	0.99620	0.2965	32.668	6.087	4.789	11.133	54.677	16.210	2.215	0.197	0.768	1.489	4.670	1.385	1.494	0.443	60.841	18.037
9	H 49	0.99686	0.99466	0.99618	0.2851	32.565	6.068	4.764	11.073	54.471	15.527	2.208	0.197	0.764	1.481	4.651	1.326	1.488	0.424	60.609	17.277
10	H 50	0.99685	0.99463	0.99617	0.2741	32.463	6.049	4.738	11.014	54.264	14.873	2.201	0.196	0.760	1.473	4.631	1.269	1.482	0.406	60.377	16.549
11	H 51	0.99684	0.99460	0.99616	0.2636	32.360	6.030	4.713	10.955	54.057	14.247	2.194	0.195	0.756	1.465	4.611	1.215	1.477	0.389	60.145	15.851
12	H 52	0.99683	0.99457	0.99614	0.2534	32.257	6.011	4.687	10.895	53.850	13.647	2.187	0.195	0.752	1.457	4.592	1.164	1.471	0.373	59.913	15.183
13	H 53	0.99682	0.99454	0.99613	0.2437	32.154	5.992	4.662	10.836	53.643	13.041	2.180	0.194	0.748	1.449	4.573	1.115	1.466	0.357	59.681	14.547
14	H 54	0.99681	0.99451	0.99612	0.2343	32.051	5.973	4.637	10.777	53.436	12.436	2.173	0.193	0.744	1.441	4.554	1.066	1.461	0.342	59.450	13.937
15	H 55	0.99680	0.99448	0.99611	0.2253	31.948	5.954	4.612	10.723	53.229	11.831	2.166	0.193	0.740	1.433	4.535	1.017	1.455	0.328	59.214	13.353
16	H 56	0.99679	0.99445	0.99610	0.2166	31.845	5.935	4.587	10.669	53.022	11.226	2.159	0.192	0.736	1.425	4.516	0.968	1.450	0.314	58.978	12.794
17	H 57	0.99678	0.99442	0.99609	0.2083	31.742	5.916	4.562	10.615	52.815	10.621	2.152	0.191	0.732	1.417	4.497	0.919	1.445	0.301	58.742	12.257
18	H 58	0.99677	0.99439	0.99608	0.2003	31.639	5.897	4.537	10.561	52.608	10.016	2.145	0.190	0.728	1.409	4.478	0.870	1.440	0.288	58.506	11.743
19	H 59	0.99676	0.99436	0.99607	0.1926	31.536	5.878	4.512	10.507	52.401	9.411	2.138	0.190	0.724	1.401	4.459	0.821	1.434	0.276	58.270	11.250
20	H 60	0.99675	0.99433	0.99606	0.1852	31.433	5.859	4.487	10.453	52.194	8.806	2.131	0.189	0.720	1.393	4.440	0.772	1.429	0.265	58.034	10.778
21	H 61	0.99674	0.99430	0.99605	0.1780	31.330	5.840	4.462	10.399	51.987	8.201	2.124	0.188	0.716	1.385	4.421	0.723	1.424	0.254	57.798	10.325
22	H 62	0.99673	0.99427	0.99604	0.1712	31.227	5.821	4.437	10.345	51.780	7.596	2.117	0.187	0.712	1.377	4.402	0.674	1.419	0.243	57.562	9.892
23	H 63	0.99672	0.99424	0.99603	0.1646	31.124	5.802	4.412	10.291	51.573	6.991	2.110	0.187	0.708	1.369	4.383	0.625	1.413	0.233	57.326	9.476
24	H 64	0.99671	0.99421	0.99602	0.1583	31.021	5.783	4.387	10.237	51.366	6.386	2.103	0.186	0.704	1.361	4.364	0.576	1.408	0.223	57.090	9.078
25	H 65	0.99670	0.99418	0.99601	0.1522	30.918	5.764	4.362	10.183	51.159	5.781	2.096	0.185	0.700	1.353	4.345	0.527	1.403	0.214	56.854	8.696
26	H 66	0.99669	0.99415	0.99600	0.1463	30.815	5.745	4.337	10.129	50.952	5.176	2.089	0.184	0.696	1.345	4.326	0.478	1.398	0.205	56.618	8.331
27	H 67	0.99668	0.99412	0.99599	0.1407	30.712	5.726	4.312	10.075	50.745	4.571	2.082	0.183	0.692	1.337	4.307	0.429	1.392	0.196	56.382	7.980
28	H 68	0.99667	0.99409	0.99598	0.1353	30.609	5.707	4.287	10.021	50.538	3.966	2.075	0.183	0.688	1.329	4.288	0.380	1.387	0.188	56.146	7.645
29	H 69	0.99666	0.99406	0.99597	0.1301	30.506	5.688	4.262	9.967	50.331	3.361	2.068	0.182	0.684	1.321	4.269	0.331	1.382	0.180	55.910	7.323
30	H 70	0.99665	0.99403	0.99596	0.1251	30.403	5.669	4.237	9.913	50.124	2.756	2.061	0.181	0.680	1.313	4.250	0.282	1.377	0.172	55.674	7.014
31	H 71	0.99664	0.99400	0.99595	0.1203	30.300	5.650	4.212	9.859	49.917	2.151	2.054	0.180	0.676	1.305	4.231	0.233	1.372	0.165	55.438	6.719
32	H 72	0.99663	0.99397	0.99594	0.1157	30.197	5.631	4.187	9.805	49.710	1.546	2.047	0.180	0.672	1.297	4.212	0.184	1.366	0.158	55.202	6.436
33	H 73	0.99662	0.99394	0.99593	0.1112	30.094	5.612	4.162	9.751	49.503	0.941	2.040	0.179	0.668	1.289	4.193	0.135	1.361	0.151	54.966	6.165
34	H 74	0.99661	0.99391	0.99592	0.1069	29.991	5.593	4.137	9.697	49.296	0.336	2.033	0.178	0.664	1.281	4.174	0.086	1.356	0.145	54.730	5.905
35	H 75	0.99660	0.99388	0.99591	0.1028	29.888	5.574	4.112	9.643	49.089	-0.269	2.026	0.177	0.660	1.273	4.155	0.037	1.351	0.139	54.494	5.656
36	H 76	0.99659	0.99385	0.99590	0.0989	29.785	5.555	4.087	9.589	48.882	-0.864	2.019	0.177	0.656	1.265	4.136	-0.012	1.345	0.133	54.258	5.417
37	H 77	0.99658	0.99382	0.99589	0.0951	29.682	5.536	4.062	9.535	48.675	-1.459	2.012	0.176	0.652	1.257	4.117	-0.063	1.340	0.127	54.022	5.188
38	H 78	0.99657	0.99379	0.99588	0.0914	29.579	5.517	4.037	9.481	48.468	-2.054	2.005	0.175	0.648	1.249	4.098	-0.114	1.335	0.122	53.786	4.969
39	H 79	0.99656	0.99376	0.99587	0.0879	29.476	5.498	4.012	9.427	48.261	-2.649	2.000	0.174	0.644	1.241	4.079	-0.165	1.330	0.117	53.550	4.760
合計						1,250.788	233.073	184.434	428.718	2,097.013	446.011	84.819	7.554	29.589	57.349	179.310	38.132	57.297	12.186	2,333.620	496.329

様式記入上の留意点

1. 再評価の場合、事業全体分、残事業分それぞれ作成する。